

在アメリカ華人と中国の「ソフト・パワー」 — 中国の文化外交における海外在住の「同胞」の媒介的作用を問う —

グローバル地域センター「アジアの消費行動の多様性」研究チームでは、「周辺」から中国を再認識することをテーマとし、「アジア文化理解講座」を開催しています。

今回は、アメリカにおける中国系移民が中国の文化外交にどのような媒介的作用を及ぼしているか、さらに今後、米中関係にどのような影響を与える可能性があるのかについて、この分野の第一人者である李其榮先生を招き、御講演いただきます。



李其榮氏

華中師範大学 国際移民・海外華人研究センター 教授
国務院僑弁僑務理論研究武漢基地主任
専門は歴史学、特にアメリカ華人史



プログラム

14:40～14:45

主催者挨拶

富沢 壽勇

(グローバル地域センター副センター長、国際関係学研究科長)

14:45～16:10

講演 在アメリカ華人と中国の「ソフト・パワー」

講師 李其榮氏 (華中師範大学 教授)

※講演は中国語で行います。日本語の逐次通訳がつきます。

司会・通訳 奈倉京子

(グローバル地域センター研究員、国際関係学部准教授)

日時・場所

平成 29 年 12 月 20 日(水)

14:40～16:10 (開場 14:10)

静岡県立大学 草薙キャンパス

一般教育棟 3階 2309講義室

(静岡市駿河区谷田52-1)

参加無料・要事前申込



主催
お問合せ

静岡県立大学グローバル地域センター

tel.054-245-5600 fax.054-245-5603 E-mail glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

ホームページでも御案内しています。

<http://global-center.jp/>

講演概要

今日、国際社会におけるプレゼンスを高めつつある中国であるが、経済的、政治的な台頭に加え、2000年以降、「文化」の分野でも巧みな外交手腕を発揮している。その1つに対外中国語教育の普及活動がある。中国で文化外交の取り組みが強調され始めたのは、江沢民政権（1998年1月）からである。その後、胡錦濤国家主席が2007年の中国共産党第17回大会で国家の文化ソフト・パワーを向上させること、全民族の文化的創造力を掻き立て、中華文化を繁栄させることが必要であること等を述べた報告書を提出した。こうして推進されている中国の文化外交を媒介し、中国文化を海外へ広めている存在として華僑・華人が注目されている。彼/彼女らは、中国の文化ソフト・パワー構築においてどのような役割を担っているのだろうか。中国の文化ソフト・パワー向上過程にはどのような問題が存在し、どのように対策を講じるべきなのか。アメリカの華人社会と中国政府の相互作用を例に講演する。

会場アクセス

※公共交通機関でお越しください

- 住所: 静岡市駿河区谷田52-1
- 徒歩の場合: JR「草薙駅」南口または静岡鉄道「草薙駅」
「県立美術館前」下車、上り坂徒歩15分
- バスの場合: JR「草薙駅」南口より静鉄バス「三保草薙線」
「草薙団地行」へ乗車4分、「県立大学入口」下車、徒歩5分



在アメリカ華人と中国の「ソフト・パワー」(12月20日) 参加申込書

下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、12月19日(火)までに、FAX 又は郵便にて「グローバル地域センター」までお送り下さるか、下記内容を記載したメールでお申し込みください。

〈申込先〉 **FAX: 054-245-5603**

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階 静岡県立大学グローバル地域センター

TEL: 054-245-5600 <http://global-center.jp/> E-mail: glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

氏名	フリガナ		
会社名・団体名 学校名			
住所	〒		
電話番号	ご勤務先 ・ ご自宅		○をお付け下さい。
E-mail アドレス	FAX 番号		

* ご記入いただきました個人情報は、参加者把握のための利用他、静岡県立大学が主催する講演会のご案内にのみ使用いたします。